

医学・医療入門

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授		
担当講座・学科(分野)	医学部、看護学部、全学教育推進機構、医学教育学講座地域医療学分野、共通基盤看護学講座、看護専門基礎講座、附属病院		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

看護を学ぶ初学者である学生が、医療提供の仕組みやその実際についての理解を深められるように、医療や福祉の分野で実際に医療やケアを提供している医療関係職種や管理者、ケアを提供している実務スタッフなどから、現状と課題などについて学ぶ。さらに、ディスカッションを通して、将来の看護職として自らが期待されていることや医療に関わることの意義について理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

医療や福祉現場で働く医療関係職種や管理者から講義を聴くことによって、医療や福祉分野で期待される看護職の役割を理解し、安全を確保しながら、専門的な看護を提供するために必要な基本的な態度を学ぶ。さらに、将来優れた専門職となることを志し、継続的に学ぶモチベーションを持ち、看護職として相応しい素養を修得する。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 7

・到達目標（SBO）

1. 本学の歴史、地域・わが国・世界において果たす役割を理解する。
2. 医療における看護職の役割、チーム医療および責任体制について説明できる。
3. 医療機関における看護の組織、看護体制、看護の機能について説明できる。
4. 医学の歴史について概説できる。
5. 医療プロフェッショナルリズムとは何か、看護職として求められているコンピテンシーを説明できる。
6. 医療の中で安全文化を形成し、チームとして取り組むことの意義について説明できる。
7. 医療安全対策など医療機関の取り組みと看護の活動・役割について説明できる。
8. 地域医療の現状と問題点を抽出し、看護職が果たす役割を説明できる。
9. 保健、医療、福祉や介護などのチーム連携における看護職の役割を説明できる。
10. 専門職としてキャリア発達の過程や生涯学習の意義について説明できる。
11. 看護の専門性や価値について自分なりの意見を持つことができる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/18	月	1	医学部	佐々木 真理 医学部長	<p>岩手医科大学の歩みと果たす役割について学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手医科大学の成り立ちを知ること、本学の持つ使命（人格に優れた地域医療人育成）を認識することができる ・多様な医療の現場で働く自身の将来像を描くことができる
6/1	月	1	医学教育学講座 地域医療学分野	伊藤 智範 教授	<p>地域医療の現状と課題について学修するとともに、看護職が果たす役割について理解を深める。 講義・ディスカッション (クリッカーを使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の現状と、今後の地域包括ケアの概要を説明し、看護師の役割を説明できる
6/8	月	1	全学教育推進機構	佐藤 洋一 機構長	<p>医学の歴史と医療プロフェッショナルリズムについて学ぶ。 講義・ディスカッション (クリッカーを使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・医学の歴史を知ること、医療人が社会に対して果たすべき義務を負っていることを認識できる ・医学の進歩に伴い、医療現場の専門が細分化して多様な職種が連携することが求められていることを知ることで、知識と技能だけではなく、医療チーム全体で向上を心がけなければならないことを認識できる

6/15	月	1	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>保健、医療、福祉および介護等のチーム連携における看護職の役割を学ぶ。</p> <p>講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各医療職種の業務内容を説明できる ・チーム医療・連携の意義を理解し、看護職が果たす役割を説明できる
6/22	月	1	附属病院	小笠原 邦昭 附属病院長	<p>岩手医科大学附属病院の現状と今後のあり方について学ぶ。</p> <p>講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手医科大学附属病院における多種多様な疾患と状況を理解できる ・全ての患者に平等且つ適切な看護を提供する必要性を理解できる
6/29	月	1	共通基盤看護学講座	秋山 智弥 特任教授	<p>病院機能によって求められる看護職の専門性と問題点について学修し、継続医療・看護を推進するための人材交流やキャリア形成の意義について理解を深める。</p> <p>講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての看護職の成長・発達のプロセスが理解できる ・看護専門職としての自らのキャリアパスがイメージできる
7/6	月	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>看護職としてのキャリア形成の意義について学修するとともに、専門職として従事している実務スタッフの経験を通して、自身が目指す看護職について理解を深める。</p> <p>講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属病院のキャリアパスの構造が理解でき、自己のキャリアプランを立てることができる ・キャリアパスによる人材育成について理解でき、専門職としてキャリア発達の過程や生涯学習の意義について説明できる

7/13	月	1	看護学部	嶋森 好子 看護学部長	<p>安全かつ信頼される看護と医療を実践するために必要な看護プロフェッショナリズムについて学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <p>・看護の専門性について説明できる ・患者安全確保のために行うべき基本行動を説明できる</p>
------	---	---	------	-------------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	看護者の基本的責務 2020 年版	手島恵	日本看護協会出版会	2020
推	自分たちで創る現場を変える 地域包括ケアシステム: わが まちでも実現可能なレシピ	竹端 寛 (著),ら	ミネルヴァ書房	2015
推	系統看護学講座 (別巻 11) 医学概論	日野原重明	医学書院	2003
推	現代医学概論 第 2 版	柳澤信夫	医歯薬出版	2015

・成績評価方法

講義レポート 100%

講義修了後に講義で学んだことを約 800 字のレポートにまとめて webclass で提出する。やむをえず講義を欠席した場合でも、授業内容/到達目標や配布資料を参考に学修してレポートを必ず提出すること。

提出期限は、講義修了後 2 週間以内 (厳守) とする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

1. 事前学修については、各回の授業内容および到達目標の内容に関し、推薦書等を用いて調べるものとし、各回最低 30 分以上を要する。適宜、講義の冒頭で事前学修内容の確認時間を設ける。
2. 講義終了後はノートと教科書・配付資料で復習し、知識と理解の定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却または webclass に解説等をアップする。

【その他】

各回の授業の中で、教員とのディスカッションやグループワークの機会を設ける。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影